

<引用文献>

- 安藤広子, 溝口満子, 塚原正人(2002). 遺伝看護の現状と歴史的展望. 安藤広子. 遺伝看護.
東京都: 医歯薬出版株式会社.
- 青木菊磨(1997). 平成 9 年度厚生労働省心身障害研究 遺伝相談に関する研究総括報告. 1-11.
- Asahara, K., Kobayashi, M., Ono, W., Omori, J., Todome, H., Konishi, E. & Miyazaki, T. (2012). Ethical Issues in Practice: A Survey of Public Health Nurses in Japan. *Public Health Nursing*, 29(3), 266-275.
- Dale, H. L., Jean, F. J., Clair, A. F. (1999). 倫理学・遺伝学と看護実践, 遺伝看護の実践事例からのアプローチ. 清水淑子, 溝口満子, 安藤広子 (2001). (pp247-280). 東京: 日本遺伝看護協会出版会
- Dheensa, S., Fenwick, A., Luccassen, A. (2015). 'Is this knowledge mine and nobody else's? I don't feel that.' Patient views about consent, confidentiality and information-sharing in genetic medicine. *Journal of medical ethics*, doi: 10.1136/medethics-2015-102781
- Holzemer, L. W. (1989). 研究の方法論: 標本の抽出と測定用具. *看護研究*, 22(1), 61-69.
- 福嶋義光 (2013). 遺伝医学やさしい系統講義. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- Irwin, E. D., Millikan, C. R., Stevens, R., Roche, I. M., Rakhra-Burris, T., Davis, V. M. et al. (2004). Genomic and Public Health Practice: A Survey of Nurses in Local Health Departments in North Carolina. *Journal of Public Health Management Practice*, 10(6), 539-544.
- 飯島久美子, 萩原貴子, 佐久間淳子, 星山佳治(2009). 住民と保健師の遺伝病に対するイメージに関する研究. *日本公衛誌*, 56(9), 645-654.
- 池田若葉, 藤田比佐子(2003). 遺伝性癌の遺伝子診断に対する一般市民の意識調査とその関連要因. *民族衛生*, 69(1), 2-12.
- 生田恵子, 松本光子 (1989). 看護職と遺伝相談. *助産婦雑誌*, 43 (10), 26-37.
- 入江昌子(2000). さまざまな実践: 地域における看護実践 盛岡保健所での実践例. *看護*, 52(13), 104-108.

近藤達郎, 松本正 (2002). プライマリーヘルスケアと遺伝カウンセリング. *ゲノム医学*, 2 (5), 79-84.

厚生労働省 (2011). 平成 23 年度全国厚生労働部長会議 (厚生分科会).

http://www.mhlw.go.jp/topics/2011/01/dl/tp0119-1_31.pdf

厚生労働省(2013a). 保健師助産師看護師国家試験出題基準 平成 26 年版 全体版.

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002ylby-att/2r98520000031ao9.pdf>

厚生労働省(2013b). 難病対策の改革に向けた取組について.

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000032669.pdf>

厚生労働省 (2014). 平成 26 年衛生行政報告例 (就業医療関係者) の概況

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/14/>

溝口満子, 森屋宏美(2009). 遺伝医療における看護職者(看護師・助産師・保健師)の役割～看護実践の現状と体制充実に向けての課題～. *日本遺伝カウンセリング学会誌*, 30, 139-144.

森ウメ子, 田中一郎, 金廣昭美, 高瀬俊夫, 高橋幸博, 吉岡章(1995). 奈良県における遺伝相談の実態とニーズ 第 2 報 保健婦に対するアンケート調査. *臨床遺伝研究*, 17, 8-14.

森由紀, 玉井真理子, 山下浩美(2006). 遺伝に関する保健師の認識調査: 地域連携を視野に入れた研修前後での認識を比較して. *日本遺伝看護学会誌*, 4(1), 16-28.

中込さと子, 横尾京子, 藤本紗央里, 村上真理(2009). 住民および地域医療従事者の遺伝相談に関する認識とニーズに関する実態調査. *日本遺伝看護学会誌*, 7(1,2), 68-75.

根岸薫, 麻原きよみ, 柳井晴夫(2010). 「行政保健師の職業的アイデンティティ尺度」の開発と関連要因の検討. *日本公衆衛生雑誌*, 57(1), 27-31.

大倉興司 (1992). *看護のための臨床遺伝学*. 東京: 医学書院.

岡本玲子, 鳩野洋子, 小出恵子, 長野扶佐美, 岩本里織, 草野恵美子(2015). 保健活動の必要性を見せる行動尺度の開発. *日本公衆衛生雑誌*, 62(6), 271-280.

奥寺三枝子(2007). 遺伝カウンセリングのニーズをどう受け止めるか?ー保健活動の現場からー. *日本遺伝カウンセリング学会誌*, 27, 21-25.

Prows, C. A., Glass, M. & Nicol, M. J. Skirton, H., Williams, J. (2005). Genomics in nursing education. *Journal of Nurses Scholarship*, 37, 196-202.

- 佐伯和子, 和泉比佐子, 宇座美代子, 他(2004). 行政機関に働く保健師の専門職務遂行能力の発達：経験年数群別の比較. *日本地域看護学会誌* 7(1), 16-22.
- 櫻井晃洋(2011). “遺伝子を調べる” というビジネス. —Direct-to-consumer 遺伝学的検査. *医学のあゆみ*, 237(3), 273-275.
- 白石一浩(2011). Duchenne 型筋ジストロフィー家系における女性保因者診断の実際. *小児保健研究*, 70(4), 550-553.
- Shepherd, M., Colclough, K., Hattersley, A.T.(2014). Ten years of the national genetic diabetes nurse network: a model for the translation of genetic information into clinical care. *Clinical Medicine*, 14(2), p117-121. doi: 10.7861/clinmedicine.14-2-117.
- Spring, S. (2007). Genetic/Genomics Nursing: Scope and Standards of Practice. *American Nurses Association*, 6.
- 高田法子, 溝上五十鈴, 岡田浩佑(1999). 地域のヘルス・ケアにおける遺伝相談システムの研究ならびに遺伝専門看護師の必要性に関する考察. *看護学統合研究*, 1(1), 85-103.
- 高田谷久美子, 横田恵子, 荻原貴子, 原えり香, 日原理恵, 山崎洋子, 山岸春江(2005). 山梨県における遺伝相談の実態—保健師に対するアンケート調査から— . *山梨大学看護学会誌*, 4(1), 35-40.
- 高瀬悦子(2001). 遺伝看護の歴史を振り返る 看護職等の地域遺伝相談研究会の歩みを中心に. *看護*, 53(1), 93-96.
- 辻恵子, 横山寛子, 森屋宏美, 溝口満子(2014). 看護基礎教育課程における遺伝学・遺伝看護学教育の実態調査. *日本遺伝看護学会誌*, 12(2), 54-63.
- 上野泰弘(2004). がんの遺伝学的検査（遺伝子検査）に対する住民の意識に関する研究. *保健医療科学*, 53(3), 228-230.
- Weinstein, B. L.(2007). Selected Genetic Disorders Affecting Ashkenazi Jewish Families. *Family&Community Health*, 30(1), 50-62.
- 吉岡章, 井澤朋子, 川島佐枝子, 菊池とも, 原田光子, 三矢早美他(1997). 平成9年度厚生労働省心身障害研究「遺伝相談に関する研究」「遺伝相談の需要（ニーズ）に関する研究」分担研究報告書. 197-210.